

東京五輪ゴルフ会場を巡る今年の動き

- 1・4 組織委の森喜朗会長が霞ヶ関CCの輸送面の問題などを指摘
- 13 小池百合子都知事が正会員の規定に違和感を表明
- 20 IOCがJGAに改善を求めてきたことが半明
- 27 IOCが組織委に改善を要請したと公表
- 31 安倍晋三首相が国会で正会員の規定を疑問視
- 2・7 霞ヶ関CCが理事会開催

危機回避困難
東京都の五輪招致担当「者」注1が、2012年11月に国際ゴルフ連盟（IGF）に霞ヶ関CCの英訳資料を送る際、「正会員は男子とする」とした条約を添付してしまっただけで、山田氏は責任問題の追及を受け、

2020年東京五輪・パラリンピック招致時に、「霞ヶ関CC」（埼玉県川越市）の細則の英文を送付しなかったという「凡ミス」が発端だったゴルフ会場問題。正会員資格を巡り一部で批判を浴びる同CCでの開催が不可能になった場合はどうなるのか。日本ゴルフ協会（JGA）が国内主要競技団体や都と設置した「五輪ゴルフ競技対策本部」の山中博史副本部長（53）から、驚愕の事実が明らかにされた。

真相 東京五輪ゴルフ会場問題

山中副本部長が明かす 驚愕の事実



山中 博史

もつと大きな危機を回避する方が重要だと主張した。「2024年以降もゴルフは五輪競技に残れるのか。実施競技を検討する9月のIOC（国際オリンピック委員会）総会の2、3カ月前までには、この問題は解決しないといけない。リオでもい選手が出なかったとか、ゴルフ場がキリキリまでできなかったから、これくらいの声があったら、ゴルフは何をやっているんだ」という声か他の競技団体から上がった。スポーツはほかにもたくさんありますから、今連年の1回目で、ゴルフ会場は半年間をかけた。先順位1位を霞ヶ関CC、同2位を横浜CCと決めた経緯を紹介した。立候補ファイルに載せたのは霞ヶ関CCだけだが、この際、2位の横浜CCに移し、緊急事態を回避してはどうかという意見も出ていた。しかし、事はそう簡単にはなかつた。山田氏が明かす「霞ヶ関CCが決まっ



『霞ヶ関が駄目なら即横浜』ではない

ゼロベースからのやり直しに

霞ヶ関カンツリー倶楽部

1929年に東コースが開場。世界的設計者のC・H・アリソン氏による改造も加え、32年に西コース

も完成。日本で初めて36ホールを持つゴルフ場となった。緑豊かな武蔵野丘陵に広がる林間コース。池やバンカーと、左右に松林が戦略性を高めている。57年に日本

で初めてW杯（国別対抗団体戦）が開催され、日本オープンも4度開催。2020年東京五輪でゴルフ競技の会場になる。埼玉県川越市大字笠幡3398。



記者の目

年明けから一気に広がった霞ヶ関CCの正会員資格を巡る騒ぎは、今もついでにけな方も多いのではないかと、一部の有志団体が日本国外特派員協会で見つけたこともあり、海外でも報じられたが、「男尊女卑」という日本に根付いたイメージをいまだに受け継いでいる。この騒ぎは、組織委の最終決定者として承認したはずのIOCが今になって霞ヶ関CCに改善要求を出したが、情報を共有するIGFは、十数回もの視察で何度も正会員資格の説明は受けていた。IOCも「女性の正会員は少ない」とは分かっていた。IOCも「女性の正会員に責任逃れ」との印象はぬぐえない。

一部で霞ヶ関CCに決定した経緯を問題視する声もあるが、山中氏のインタビューや関連取材で示されたプロセスに密着性はなかった。「男女差別」「ラックホックス」といった目を引く言葉ばかりが一人歩きして、炎上を巻き起こす典型的な例ではないか。今回の被害者は突然消え去られたプライベートクラブの「霞ヶ関CC」とその会員たち。タイムリミットが迫る中、東京五輪の成功と五輪でのゴルフ存続のためには、不愉快な思いをしる会員の善意にすぎない。（社会面担当 丸山汎



た時点で、IGFは横浜の下見も何もしていないのです。横浜CCには正式なお願いもしていません。もし霞ヶ関が駄目だとすると、ゼロベースからの出発になります。われわれは霞ヶ関がベストな選択で「国際公約」だと思っています。同時に進行で進むコースを探さなくてはなりません」

霞ヶ関がベストな選択で「国際公約」
た時点で、IGFは横浜の下見も何もしていないのです。横浜CCには正式なお願いもしていません。もし霞ヶ関が駄目だとすると、ゼロベースからの出発になります。われわれは霞ヶ関がベストな選択で「国際公約」だと思っています。同時に進行で進むコースを探さなくてはなりません」

「申請しない」というのが正直な気持ちです。彼らが手を挙げたのではなく、条件に基づいてわれわれが選んだのにならぬという事態になってしまっただけです。山中氏。霞ヶ関CCは26日の社員説明会を前に説明会を設けて、会員の理解を求めよう方針だ。1929年開業の名門コースでは、十数億円の投資で、五輪仕様にしたコースを「レガシー」として多くの人が楽しめる機会も検討しているという。東京五輪の成功の鍵を握られた会員の判断が注目される。（終わり）

（やまなか・ひろし）1963（昭和38）年6月13日生まれ。東京都出身。浦和ルーテル学院中3年の78年「日本ジュニア選手権（中学生の部）」優勝。浦和ルーテル学院高から明大、88～93年にメジャー20大会以上で青木功のキャディーを務める。日本ゴルフツアー機構専務理事。2015年1月から日本ゴルフ協会専務理事。昨年12月から五輪ゴルフ日本代表ネイロ五輪でゴルフ日本代表のチームリーダーも務めた。

緊急連載 東京五輪ゴルフ会場問題の真相

【社会面】